

(案)

第3次三島市観光戦略アクションプラン
～オール三島で観光交流客数810万人を目指します～

令和5年2月

三島市

I. アクションプランの概要

1. 背景と目的

三島市は、コロナ禍前には700万人を超える観光交流客数がありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、その観光交流客数が半減するなど、市内観光業界も大きなダメージを受けました。他方で、コロナ禍を好機と捉えると、マイクロツーリズムをはじめとした安心・安全な観光への期待と需要の高さから、市民が市内の観光資源を再認識する機会になり、近隣地域の方からの観光地としての認知度向上に繋がる機会となりました。

策定時現在のコロナ禍脱却の転換点において、市と観光関連団体が、共通の理念のもと、計画的に観光関連事業を展開し、アフターコロナ時代の新たな観光まちづくりを目指すための指南書として、第5次三島市総合計画を踏まえた新たな三島市観光戦略アクションプランを策定しました。

2. 目標

第5次三島市総合計画における観光に関する実行計画として、以下の目標を設定しました。

- ① 三島市ならではの観光資源を磨き上げ、情報発信を強化する。
- ② 三島市内外の関係者と連携し、持続可能な観光地域づくりを推進する。
- ③ 国内外から誘客を図り、消費行動を誘発する。

3. 推進期間

2023年(令和5年)4月～2028年(令和10年)3月

4. 実施主体

三島市、三島市内の観光関係者、三島市民や周辺地域の観光関係者など、オール三島で推進します。

5. 目標値

本プランでは、以下の目標を設定し推進していきます。

目標(指標)	参考値 (平成30年度)	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和9年度)
① 観光交流客数	7,748,456人	4,436,615人	8,100,000人
② 宿泊客数	379,024人	323,963人	600,000人
③ 総合観光案内所来訪者数	86,352人	47,468人	90,000人
④ 三島市観光協会HPアクセス数	323,771件	400,044件	500,000件
⑤ 三島市ふるさとガイドの会案内客数	5,260人	1,405人	5,500人

【参考目標値】

目標(指標)	現状値(令和3年度)
市内観光消費額	【宿泊有り】 10,343円/人
	【宿泊無し】 2,669円/人

※本プラン作成にあたり実施した来訪者アンケートの市内観光消費額2割程度の増加を目指します。

II. マーケット

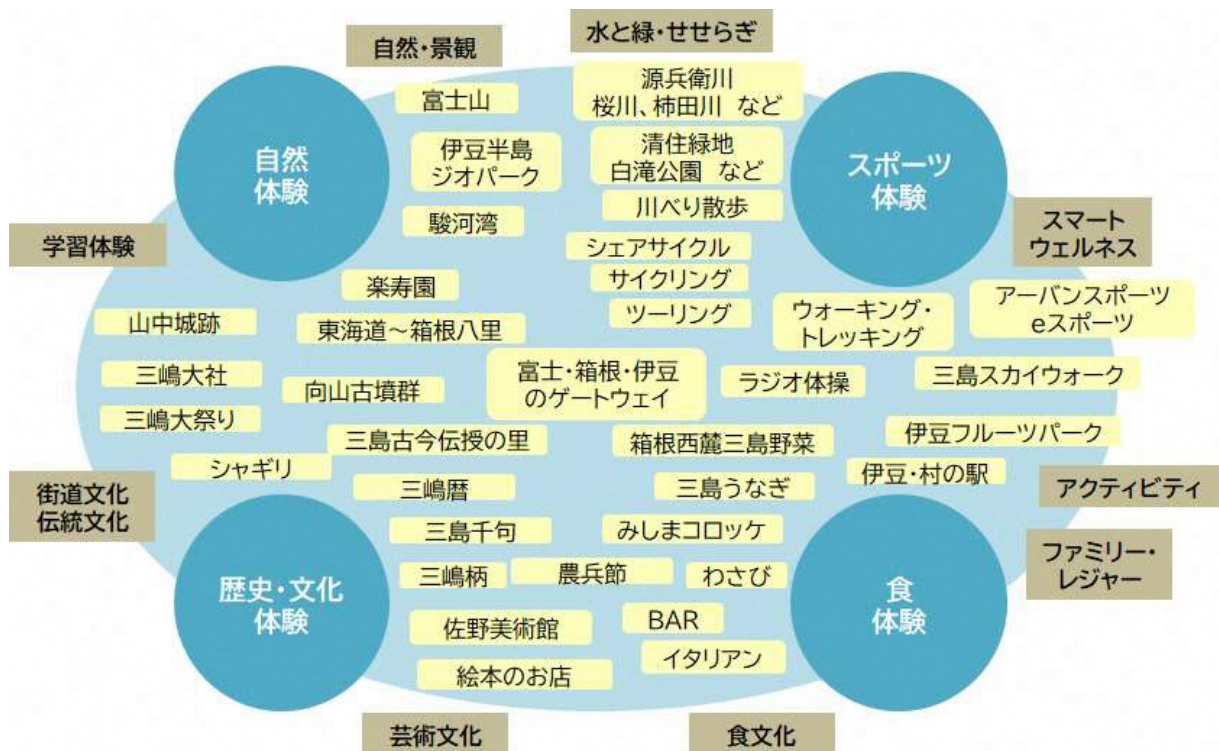
第5次三島市総合計画、現状分析を踏まえ、本プランのマーケットを設定しました。これをもとに実施主体が、各種事業のターゲットを設定し、取組を推進します。

エリア	三島市 ・周辺地域	三島市や周辺地域の観光資源や情報を周知し、居住地や就業地における観光地としての新たな発見と再認識を図ります。
	静岡県内	三島市や三島市を含む周辺地域の観光資源や情報を周知し、県内有数の観光地として三島市の認知度を向上します。
	国内	首都圏と中京圏を結び、富士山・箱根・伊豆の観光ハブ拠点としての地の利を活かした観光誘客を進めます。
	海外	東海道ゴールドルート上に位置する強みを活かし、観光ハブ拠点として情報発信やプロモーション、多言語化などの受入環境の整備を図り、観光誘客を進めます。
客層	事業実施主体により旅行形態、年齢層などの属性を踏まえたメインターゲットを設定し、事業を推進します。	

III. 三島市の観光資源

現状分析を踏まえた三島市及び周辺の観光資源は、以下のとおりです。

各種観光資源の魅力を踏まえ、「自然体験」、「スポーツ体験」、「歴史・文化体験」、「食体験」に分類し、着地型観光のテーマとして活用していきます。



IV. 基本方針と戦略

第5次三島市総合計画、調査結果を踏まえて、本プランの基本方針と戦略を設定しました。

基本方針	戦略
1 三島市ならではの 観光資源づくりと磨き上げ	(1)三島市の資源を活用した着地型観光の推進 (2)三島市内の回遊性向上
2 三島市と周辺地域を結ぶ 広域観光ネットワークづくり	(3)三島市内外の地域間連携の強化 (4)三島市内外の関係団体間連携の強化
3 国内外の来訪者が安心して楽しめる 観光地づくり	(5)インバウンド誘客の強化 (6)観光案内機能の強化 (7)美しい景観によるにぎわいづくりの推進
4 効果的なプロモーションの実施	(8)デジタルマーケティングの推進 (9)セールスプロモーションの推進
5 三島市の観光推進に資する体制強化	(10)アクションプランの推進体制の強化 (11)観光教育などによる新たな人材の発掘と育成

V. 取組内容

<基本方針1> 三島市ならではの観光資源づくりと磨き上げ

【戦略1】 三島市の資源を活用した着地型観光の推進

三島市の自然、歴史・文化、食、スポーツに関する観光資源を磨き上げ、それらをテーマとした着地型観光を推進し、新たな観光ルートの開発を進めます。

取組	取組内容
①自然体験の推進	楽寿園、源兵衛川、中郷温水池、清住緑地、柿田川などを含むせせらぎ回遊ルート、富士山・駿河湾の眺望、伊豆半島ジオパークなどの自然資源を活用した着地型観光を推進し、観光交流人口の拡大を図ります。
②歴史・文化体験の推進	三嶋大社、三嶋大祭り、山中城跡、日本遺産「箱根八里」、三嶋曆師の館、向山古墳群、三島古今伝授の里、三島千句などの歴史・文化資源を活用した着地型観光を推進し、観光交流人口の拡大を図ります。
③食体験の推進	三島うなぎ、みしまコロツケや箱根西麓三島野菜、また、それらを販売・提供する店舗や施設などの食資源を活用した着地型観光を推進し、観光交流人口の拡大を図ります。
④スポーツ体験の推進	三島スカイウォークなどのアクティビティ、サイクリング、ウォーキング、プロスポーツ、トレンドのアーバンスポーツ ^(※1) やeスポーツなどのスポーツ資源を活用した着地型観光を推進し、観光交流人口の拡大を図ります。

※1 アーバンスポーツ:BMX、スケートボード、パルクール、インラインスケート、ブレイクダンスなどの都市の通りや広場で実施される都市型スポーツ。

【戦略2】 三島市内の回遊性向上

三島市の玄関口である三島駅、三嶋大社や楽寿園、源兵衛川などがある市街地エリア、市外からも多くの観光客が訪れる三島スカイウォークや伊豆フルーツパーク、山中城跡などがある箱根西麓エリアを結び、回遊性向上に向けた取組を進め、市内での消費を促します。

取組	取組内容
①まちなか回遊の促進	三島市まちなかりノベーション推進計画や三島駅南口東街区再開発事業で魅力が高まる市街地エリアの回遊性向上により滞在時間と消費額の拡大を図ります。
②市内回遊の促進	市街地エリアを含め、市内に点在する観光資源の回遊性向上により滞在時間と消費額の拡大を図ります。

<基本方針2> 三島市と周辺地域を結ぶ広域観光ネットワークづくり

【戦略3】 三島市内外の地域間連携の強化

箱根西麓エリアや富士山・箱根・伊豆地域と連携することにより、観光ハブ機能を強化し、3大都市圏間、東海道ゴールデンルート上に位置する強みを活かした観光誘客を進めます。

取組	取組内容
①市街地エリアと箱根西麓エリアとの連携強化	三島観光案内所、三島駅南口広域観光交流拠点を活用し、市街地エリアと三島スカイウォークなどが立地する箱根西麓エリアとの連携を強化し、市内観光の充実を図ります。
②富士山・箱根・伊豆地域との連携強化	富士山・箱根・伊豆地域の観光ハブという利点を踏まえ、世界文化遺産「富士山」、日本遺産「箱根八里」、伊豆半島ジオパークなどの資源を活用した広域観光ネットワークを構築し、市内誘客を図ります。

【戦略4】 三島市内外の関係団体間連携の強化

より魅力的な観光事業を推進するために、三島市内外の関係団体との連携を強化します。

取組	取組内容
①宿泊施設、飲食・物販施設、交通事業者、市民団体などとの連携	宿泊パック、宿泊者割引、朝旅、駅前マルシェ、ナイトタイムコンテンツ、周遊コース、土産物などを検討します。
②近隣の観光協会との連携	三島市、沼津市、長泉町、清水町、函南町の観光協会が連携し、周辺地域の観光資源をPRするとともに、広域観光に向けて旅行会社等へのプロモーションを推進します。
③美しい伊豆創造センターとの連携	伊豆半島の自治体や民間企業などと連携し、観光資源の磨き上げ、国内外への情報発信や販路拡大など観光振興を推進し、伊豆半島ジオパークを活用した新たな企画開発を検討します。
④箱根八里街道観光推進協議会との連携	小田原市、箱根町、函南町などと連携し、日本遺産「箱根八里」を活用した歴史めぐりや企画開発を推進します。
⑤駿豆線沿線地域活性化協議会(観光部会)との連携	伊豆箱根鉄道(株)や沿線自治体・観光協会などと連携した情報発信や企画開発を推進します。
⑥三島市スポーツ・文化委員会、E-Spo ^(※2) 、静岡県東部コンベンションビューローとの連携	三島商工会議所、三島市観光協会、静岡県東部地域の自治体、静岡県東部コンベンションビューローや民間企業などと連携し、サイクルツーリズムの推進、全国的なスポーツ大会やMICE(会議、研修旅行、学会、展示会)の誘致を進めます。
⑦静岡県との連携	静岡県と連携し、静岡県観光基本計画を踏まえた三島市内への誘客や消費額の拡大を図ります。

※2 E-Spo:静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会

<基本方針3> 国内外の来訪者が安心して楽しめる観光地づくり

【戦略5】 インバウンド誘客の強化

インバウンドの動向や嗜好などの特性を的確に把握し、持続的かつ発展的に、誘客できるよう、静岡県観光協会や美しい伊豆創造センターなどと連携し、プロモーションの充実、観光コンテンツの充実、受入環境の整備を図ります。

取組	取組内容
①三島市インバウンド誘客戦略の推進	三島市インバウンド誘客戦略を推進し、インバウンドの誘客を強化します。

【戦略6】 観光案内機能の強化

観光案内所や市内ガイドの機能強化とともに、駐車場の充実やサインの多言語化など、来訪者の利便性が高い環境整備を推進します。

取組	取組内容
①観光案内の充実	三島駅前観光案内所の来訪者対応の機能充実とともに、多言語対応できるガイドの充実、市民自らが案内人となることによる観光案内の充実を図ります。
②関係団体の観光サイトやSNSの充実	三島市及び三島市観光協会をはじめとする関係団体のウェブサイトやSNSなどを活用した情報発信の充実とともに、多言語化によるインバウンド対応も推進します。
③駐車場の充実	関係団体が連携し、観光施設などが抱える駐車場問題の解決策を、ソフトとハードの両面で、検討し、駐車サービスの充実を図ります。
④観光案内サインの充実	観光施設などにおける案内サインの多言語化など情報提供機能の充実を図ります。
⑤Wi-Fiの整備	来訪者が情報検索や情報発信ができるよう、観光施設などのWi-Fiの整備を推進します。
⑥観光施設のユニバーサルデザイン化の推進	観光施設のバリアフリー対応、トイレ環境の充実などを図ります。

【戦略7】 美しい景観によるにぎわいづくりの推進

市民を含む来訪者がいつ訪れても美しいと感じる、安心・安全な観光まちづくりを推進します。

取組	取組内容
①花があふれる観光まちづくりの推進	「ガーデンシティみしまプロジェクト」を推進し、オープンガーデンへの取組など、ごみのない、花があふれる美しい観光まちづくりを推進します。
②安心・安全な観光まちづくりの推進	行政、市民、事業者、観光施設などが連携し、治安の良い、安心・安全な観光まちづくりを推進します。

<基本方針4> 効果的なプロモーションの実施

【戦略8】 デジタルマーケティングの推進

データを活用したプロモーション戦略を検討し、SNSや動画サイトによるプロモーションを展開します。

取組	取組内容
①データを活用したプロモーション戦略の検討	WEB サイトや SNS のアクセス分析、RESAS などのデータ分析などを踏まえて、プロモーション戦略を随時見直します。
②SNSを活用したプロモーションの展開	国内外のSNSに三島市の観光情報を定期的に発信するなど、SNSを活用したプロモーションを展開します。
③動画サイトによるプロモーションの展開	自然、歴史・文化、食などの動画を作成し、動画サイトを活用したプロモーションを展開します。

【戦略9】 セールスプロモーションの推進

ドラマや映画などのロケツーリズムを推進するとともに、旅行会社へのセールスプロモーションを推進します。

取組	取組内容
①ドラマや映画などのロケツーリズムの推進	ロケツーリズム協議会などと連携し、ドラマや映画などのロケ誘致、ロケ地マップの作成などを行い、ロケツーリズムを推進します。
②旅行会社へのセールスプロモーション	シティプロモーションを図るため、旅行会社へのセールスプロモーションを推進します。

<基本方針5> 三島市の観光推進に資する体制強化

【戦略10】 アクションプランの推進体制の強化

アクションプランの推進体制を確立し、観光に関する研修などによる人材育成に取り組めます。

取組	取組内容
①「三島市観光戦略アクションプラン推進会議(仮)」の設置・運営	アクションプランの策定部会を継承した「三島市観光戦略アクションプラン推進会議(仮)」を設置・運営し、データ分析による取組の進捗確認と見直しを実施し、継続的な取組を推進します。
②観光に関する研修などの実施	関係団体やアクションプランを推進する参加者の知識向上を図るセミナーや勉強会などを開催するとともに、参加者間のノウハウ共有による連携強化を図ります。

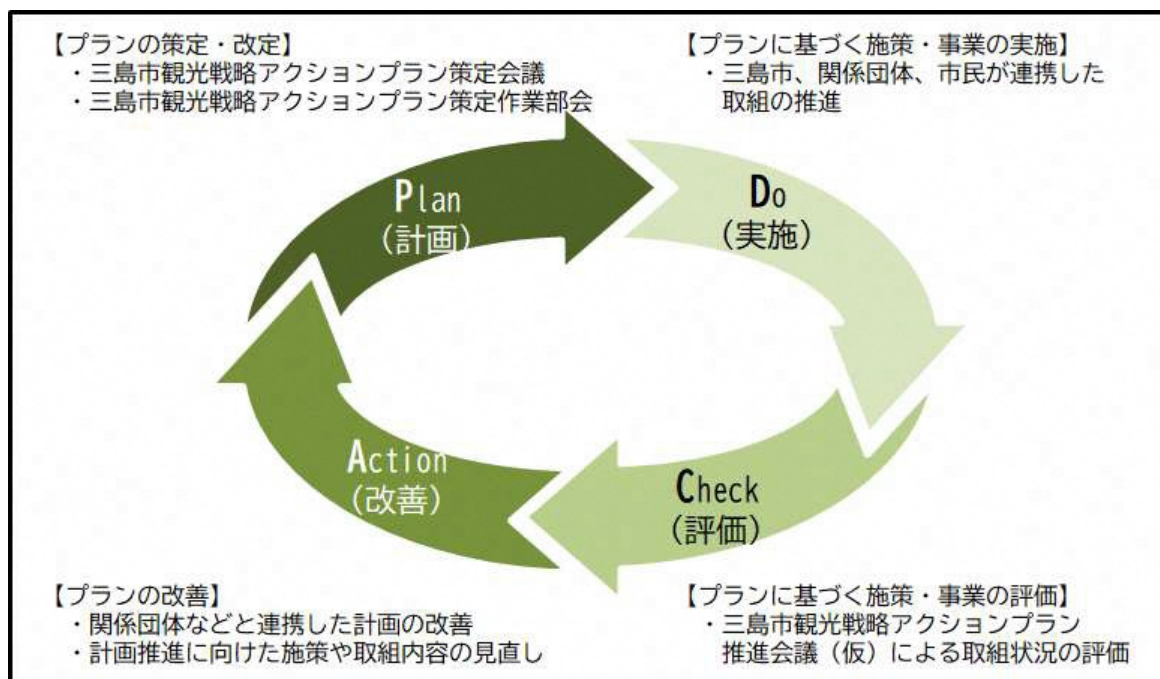
【戦略11】 観光教育などによる新たな人材の発掘と育成

市内の教育機関や移住者などとの連携により、将来の三島市の観光を担う人材育成に取り組めます。

取組	取組内容
①教育機関との連携	教育機関と連携した観光教育として、三島市を知りPRする出前授業や、観光商品開発などに取組み、三島市の観光を担う人材育成を推進します。
②観光人材の発掘と連携	観光に関わる人材の発掘と、新たに発掘した人材との連携により、新たな観光事業を展開します。
③移住者や来訪者などとの連携	移住者や来訪者などと連携し、新たな三島市の魅力の発掘と発信を図ります。

VI. アクションプランの推進

PDCA サイクルにより、三島市と関係団体などが連携してアクションプランを推進します。



VII. アクションプランの検討組織

本プラン策定にあたり、以下のメンバーによる策定会議と策定作業部会を開催し、戦略や取組を検討しました。

氏名	所属など	役職	区分
穴戸 学	日本大学 国際関係学部 国際総合政策学科	教授	学識者【座長】
宮崎 眞行	(一社)三島市観光協会	専務理事	観光協会
坪内 祐一	三島商工会議所	専務理事	経済団体代表
岩井 大	(株)フジコー 開発事業部	部長	観光施設代表
久保田 直樹	富士山三島 東急ホテル	総支配人	宿泊施設代表
前田 智子	ホテル昭明館	女将	女性経営者代表 観光協会副会長
山本 豊	(株)山本食品	代表取締役	飲食小売業代表 観光協会副会長
伊藤 政嗣	三嶋大社	総務課長	歴史文化施設代表
齊藤 昌広	伊豆箱根鉄道(株) 観光事業部兼総合企画部	執行役員 部長	公共交通代表 観光協会副会長
斎藤 幸蔵	三島市ふるさとガイドの会	会長	市民団体代表
遠藤 寿彦	(株)GeolocationTechnology	顧問	情報発信・DX スマートシティ推進協議会観光部会会長
西川 達也	三島市産業文化部	部長	行政

(敬称略)

三島市 産業文化部 商工観光課
〒411-8666 静岡県三島市北田町 4-47
TEL 055-983-2656